

2023年4月19日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

第一生命保険株式会社
代表取締役社長 隅野 俊亮

2022年度活動状況報告書

2022年度の活動について下記の通り報告いたします。

記

I. 高齢者の見守り

昨年度に引き続き、2022年度も成田支社管轄内の11市7町（佐倉市・八街市・東金市・銚子市・香取市・匝瑳市・旭市・成田市・印西市・富里市・山武市・九十九里町・横芝光町・芝山町・多古町・東庄町・神崎町・酒々井町）を中心に、成田支社以外の県下4支社にも適宜連携して活動範囲を広げながら、地域の高齢者の見守り活動に取り組んでまいりました。

成田支社では、毎月高齢者見守り活動進発日を設定し、生涯設計デザイナーひとりひとりが「高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり」という目的を再認識する日として、高齢者のご契約者宅への定期訪問や地域の見守り活動を積極的に行いました。

活動も9年目に入り、地域の高齢者を見守るという意識は十分浸透してきており、コロナ禍で活動が制限された中での取組となりましたが、2022年度に「感謝の声」として報告のあった中で、高齢者見守り・救助・支援に関するものは60事例を超えております。また離れて暮らしているご家族からも見守り活動に対する感謝のお言葉をいただいております。地域の皆さまのお役に立てていることを実感しております。

※ 今年度の事例につきましては別紙にて提出しております。

*別紙*見守り事例「感謝の声」より抜粋

年月	見守り事例
2022年5月	<p>GW中の大雨の日、営業活動中にご高齢の男性が住宅街で倒れているのを発見しました。車を路肩に停車し、すぐに駆けつけて「大丈夫ですか？」と声をお掛けしました。買い物帰りで荷物を沢山手押し車に乗せていたのですが、重みでバランスを崩してしまい、転んで起き上がれなくなってしまった様でした。</p> <p>介護経験があった為、男性を起こして骨折などのケガがないか確認をしました。大雨で人通りも少ない場所でしたが、何度も何度もお礼を言っていたら、とても感謝していただきました。たまたまですが、そこを通りかかり気づくことが出来て良かったと思いました。</p>
2022年6月	<p>80才近いご夫婦のお客さまのところへ伺ったところ、ご主人さまに認知症の診断が出たのでデイサービスに行かせたいと考えているものの手続きなど全くわからなくて困っているとのことでした。当オフィスは目の前に市役所があるので高齢者支援課へ行き、個人情報もあるのでお名前は伏せて事情を説明し、パンフレットをもらってすぐにお届けしました。</p> <p>奥さまは免許をお持ちではないので「市役所も遠いし、どうしたら良いのか困っていたので、本当に助かりました。」と喜んでいただけました。定期的に訪問させていただく事は、第一生命の一生涯のパートナーとして必要だと実感しています。</p>
2022年7月	<p>市役所での用事が終わり外に出ようとした際、入口付近で小さなおばあさまが手を振っていました。近づいてみるとお客さまでした。ご主人を亡くされ、お子様もいらっしゃらない方なのですが、市役所に用事があって来たものの、帰りのバスが2時間後との事でした。</p> <p>「以前、膝の手術をしてから足が痛く沢山歩くところは出来ないし、乗り合いタクシーも取れないの・・・。」と悲しそうに困った顔をされていた為、午後の予定まで時間があったのでご自宅までお送りしました。事故を起こしてはいけないので、細心の注意を払い、いつも以上に安全運転を心掛けました。「前日も電車とバスを乗り継いで一日かかりで病院に行ったので、本当に助かりました。ありがとう。」と、とても喜んでいただけました。</p>
2022年7月	<p>ご高齢のお客さまより「何かの請求メールが来たから見て欲しい。」と連絡をいただきました。お伺いして確認させていただいたところ、迷惑メールでしたので、URLはクリックしないようにお伝えし、ブロックしました。</p> <p>「一人で訳がわからない状態だったから本当に助かった。呼び出してごめんね。本当にありがとう。」と感謝のお言葉をいただきました。お役に立てて良かったです。</p>

II. 「ちばSSKプロジェクト」の普及

社員は『私たちは高齢者を見守っています』と書かれた「ちばSSKプロジェクト」のロゴ入りネームホルダーを身につけて活動し、地域の方々に高齢者見守りについての認知度を高めるよう取り組んでおります。また高齢者見守り活動を行っていることをお知らせするためのチラシも配布するなど、「ちばSSKプロジェクト」の普及啓発にも日々努めております。

チラシ ↓



ホルダー ↓



III. 認知症対策

成田支社では全職員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターとして活動しております（異動・退社者を除く）。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、認知症サポーター養成講座は開催できませんでしたが、2022年度は新たに119名が受講し、学んだ知識を日々の活動に役立てています。

また、認知症徘徊SOSネットワーク事業の取組のある自治体とも協定を締結しており、徘徊者も意識しながら高齢者見守り活動を進めております。

IV. 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

高齢者見守り活動の中で、一人暮らしの高齢者のお話し相手や日常のささやかなお手伝いをすることで、一人ではないことを実感いただけていると感じております。

また、健康診断の受診率の向上を地域の皆さまに推進する活動も一部行っており、健康に関する情報をお届けすることで地域の皆さまの健康に対する意識の向上にも努めております。

V. 高齢者の安心・安全

毎月、生命保険協会千葉県協会を通じて提供される「千葉県警察からのお知らせ」を活用し、電話詐欺等の被害防止の声かけにも力を入れて活動しております。また、高齢者宅訪問時、過度な宅配物等が置かれていた場合などは、ご家族にも連携して、被害の未然防止にも努めております。

実際に、「千葉県警察からのお知らせ」をお渡ししたお客さまからは参考になったとの感謝の声もいただいております。

以 上